

平成 19 年度

事業報告書

学校法人 順心会看護医療大学

目 次

	頁
はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
I 法人の概要	
1. 設置する学校・学部・学科・・・・・・・・	3
2. 設置の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3. 教育方針・・・・・・・・・・・・・・・・	3
4. 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・	4
5. 入学定員・学生数の状況・・・・・・・・	4
6. 組織図・・・・・・・・・・・・・・・・	5
7. 役員・教職員・・・・・・・・・・・・・・・・	5
8. 校地・校舎・・・・・・・・・・・・・・・・	7
II 事業の概要	
1. 概要・・・・・・・・・・・・・・・・	8
2. 行った主な事業・・・・・・・・	8
3. 学事記録・・・・・・・・	8
II 財務の概要	
1. 資金収支計算書・・・・・・・・	9
2. 消費収支計算書・・・・・・・・	12
3. 貸借対照表・・・・・・・・	14

はじめに

本学は、兵庫県初の私立四年制看護大学として、平成十八年四月に特定医療法人社団「順心会」と淡路市との公私協力によって開学いたしました。

本学は、看護学の高等教育機関として、看護を必要としている人々に対して、ヒューマンケアの精神に貫かれた専門的な看護を実践できる人材育成を目指しております。

今日、我が国は世界に類を見ない少子高齢社会を迎えております。また、生活習慣に起因する疾病が国民の健康に大きな脅威を与えていることも事実となっております。これらに対応するべく医療技術も急速に発展し、それを受けて看護の領域においても、このような社会や疾病の変化に対応するため、より一層、専門的知識・技術を習得した看護専門職の育成が求められております。

本学では、四つの基本理念である「生命に対しての熱い思い」「温かな人間性と豊かな見識」「確固たる人生観・人間観の保持」「看護を通しての貢献」を基調としつつ、高等教育を取り巻く新たな状況に対して臨機な対応を図りながら、教育・研究を展開しております。高い看護能力は勿論の事、人と命に対して尊厳の眼差しを向けられる人間性豊かな看護専門職の育成に努めております。特に、「ティーチング」、「カウンセリング」、「コーチング」、「チームコンサルティング」の四つの要素をプロ・コミュニケーションと捉え、患者さまの精神状態・健康状態・タイミングによって使い分け、コミュニケーションを図ります。このコミュニケーション能力を身に付けるためには、ユニフィケーション、いわゆる「教育・研究」と「臨床現場」の協働、つまり大学と医療機関が一体となった運営が必要であり、本学にはこの環境があります。

このような本学の教育環境の特長を活かしながら、時代の流れと社会環境の変化に的確に対応した「実学」をより一層充実させ、地域社会の中核として、そのニーズに応えることのできる有為な人材を育成するべく、総合的な改革に努めてまいり所存でございます。

本学の事業は、申すまでもなく皆様方のご理解とご協力により展開されるものであり、昨年十月には、多くの方々のご支援を得て、本学の後援会を設立することができました。なお、平成二十年四月からは、校名を「順心会看護医療大学」から「関西看護医療大学」に名称変更を行い、新たな飛翔を期して参ります。

これからも、私の座右の銘である「一隅を照らす」という理念を本学の精神的バックボーンとして教育に邁進する所存でございますので、一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

学校法人 順心会看護医療大学
理事長 徳永洋一

平成19年度事業報告書

I 法人の概要

1. 設置する学校・学部・学科

順心会看護医療大学 看護学部 看護学科

2. 設置の趣旨

近年における医療技術の進展、医療機能・構造の変化は著しく、また、高齢社会の成熟により、看護の領域は高度・急性期医療を提供する総合病院はもとより、高齢者福祉を支えるさまざまな福祉・介護施設、在宅看護等の場へと広がってきています。そのため、看護専門職には、知識や技術だけではなく、人間としての総合的な能力が要求されるようになってきています。

これからの看護専門職に求められる能力は、高度な専門知識と技術を有することはもちろんであるが、深い倫理観に基づき、患者やその家族など多様な人々との人間関係を構築し、包容力とコミュニケーション能力等をあわせもった「幅広い人間力」が必要となります。

財団法人順心会関西看護医療大学は、このような背景を踏まえつつ、豊かで、自立し、様々な問題を解決する能力を有し社会に貢献できる人材を育成するため、医療法人社団順心会の全面的支援のもと、津名町（平成17年4月、5町合併により淡路市となった。）及び兵庫県との公私協力方式により、設置されました。

3. 教育方針

- (1) 倫理教育を基盤として、常に高い見識をもって保健・医療・福祉に携われるようにします。また、社会的要請を正確かつ冷静に受け止め、高齢社会で鮮明になりつつある看護の新分野における専門化、細分化に即応できる知識と技術を有した看護専門職を育成します。
- (2) 看護される側と一緒に疾病や負傷に向き合い、人間としてお互いに信頼し合って、求められるケアを提供できるように、その能力や経験などを共有しあい、理論と実践技術として確立できるように教育し、看護専門職としての自覚を持ち、自立して理解、判断し、自己決定・自己解決できるように育成します。
- (3) QOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上を目的に、疾病になってからの看護のみ

ならず、疾病予防や保健啓発活動を通してひとりひとりの健康保持までカバーするヘルス・プロモーション活動のリーダー的存在として、また、看護を受ける側に立った活動をするためのコーディネーション能力・リーダーシップ能力を発揮できるように教育します。

- (4) 近年、医療・看護・福祉技術のアジア地域への支援を始めとする国際的な貢献・対応が求められています。これに応えるため国際的なコミュニケーション能力を身につけた人材を育成します。
- (5) 地元の団体や施設、住民と直結し、最新の保健医療情報や看護技術等を提供する等、地域における保健・医療・福祉活動に積極的に参加させます。また、リカレント教育や講演・研修活動を通して保健・医療・福祉のサービス水準の向上にも貢献します。このような広範な教育実践により、地域に密着した看護の重要性を体得した人材を育成します。

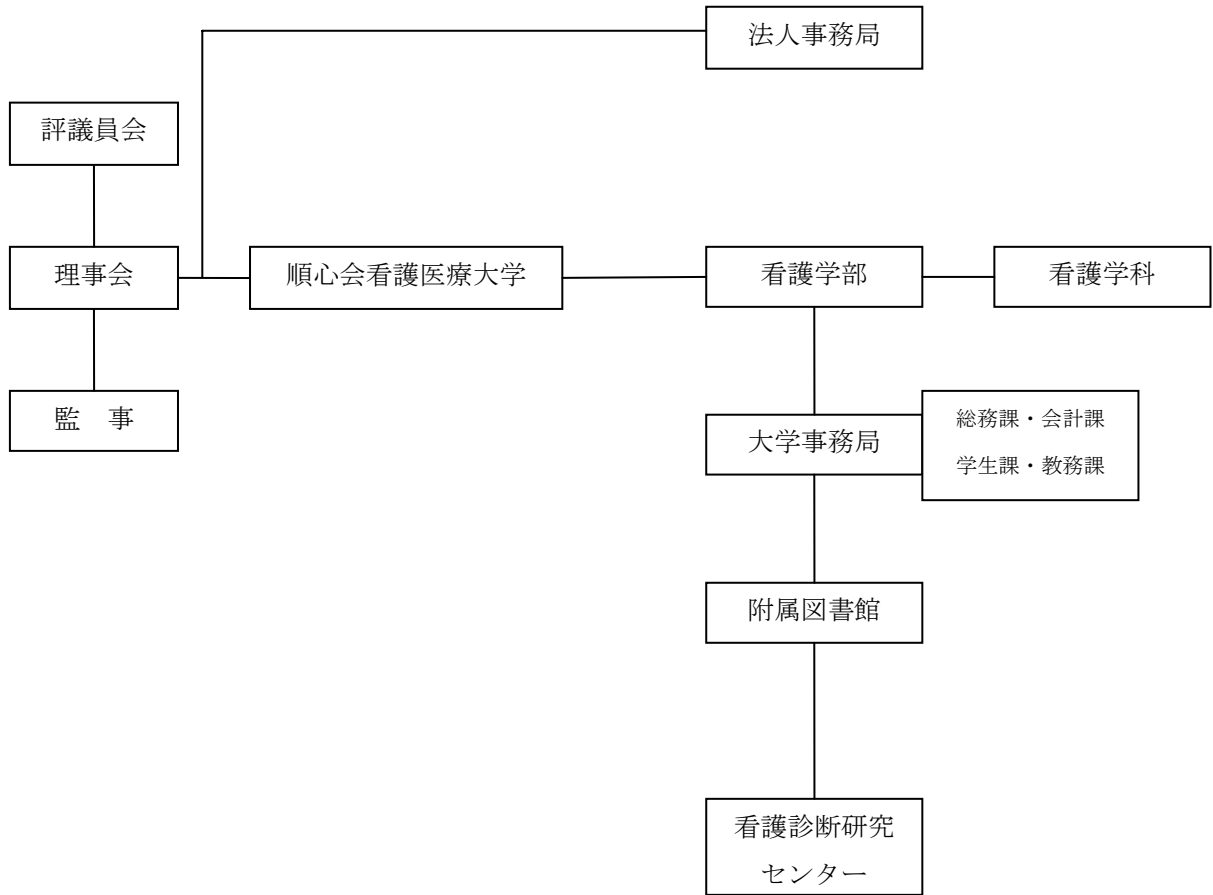
4. 沿革

平成14年11月	順心会大学設置準備室を津名町に開所
平成16年5月	財団法人順心会関西看護医療大学設立準備財団の設立許可取得
平成17年3月	兵庫県立津名高等学校跡地及び校舎を津名町より寄附、受領
平成17年4月	順心会看護医療大学建設工事・起工式
平成17年12月	順心会看護医療大学設置認可を取得 学校法人順心会看護医療大学を設立 校舎竣工
平成18年4月	順心会看護医療大学開学

5. 入学定員・学生数の状況

学部	学科	入学定員	〈学年進行完成時〉 収容定員	〔在学〕 第1年次生	〔在学〕 第2年次生
看護学部	看護学科	80人	320人	101人	90人

6. 組織図



7. 役員・教職員

(1) 理事（7名）・監事（2名）

職名	氏名	寄付行為選任条項	就任年月日
理事長	徳永 洋一	6条3項（学識経験者）	平成17年12月7日
理事	柴田 恭亮	6条1項（学長）	平成17年12月7日
理事	島田 桂吉	6条3項（学識経験者）	平成17年12月7日
理事	栗原 英治	6条3項（学識経験者）	平成18年8月18日
理事	川口 哲郎	6条2項（評議員会選任）	平成19年4月1日
理事	横畑 勲	6条2項（評議員会選任）	平成19年9月20日
理事	大槻 文夫	6条2項（評議員会選任）	平成18年10月24日
監事	青木 峰男	7条	平成17年12月7日
監事	江川 正純	7条	平成17年12月7日

(2) 評議員（13名）

職名	氏名	寄付行為選任条項	就任年月日
評議員	徳永 洋一	22条1項3号（学識経験者）	平成17年12月7日
評議員	柴田 恭亮	22条1項1号（職員）	平成17年12月7日
評議員	栗原 英治	22条1項3号（学識経験者）	平成18年8月18日
評議員	島田 桂吉	22条1項3号（学識経験者）	平成17年12月7日
評議員	川口 哲郎	22条1項3号（学識経験者）	平成19年4月1日
評議員	横畑 勲	22条1項3号（学識経験者）	平成19年9月20日
評議員	大槻 文夫	22条1項1号（職員）	平成18年10月24日
評議員	門 康彦	22条1項3号（学識経験者）	平成17年12月7日
評議員	川上 哲郎	22条1項3号（学識経験者）	平成17年12月7日
評議員	藤本 和弘	22条1項3号（学識経験者）	平成19年4月1日
評議員	住田 良夫	22条1項3号（学識経験者）	平成17年12月7日
評議員	江川 隆子	22条1項3号（学識経験者）	平成19年10月1日
評議員	山本 道雄	22条1項1号（職員）	平成17年12月7日

(3) 教員 専任 26名
兼任 22名

(4) 職員 9名

8. 校地・校舎

校地面積合計	19,010.00 m ²
学校建物延床面積	12,934.29 m ²
校舎延床面積	10,748.28 m ²
体育館延床面積	1,561.50 m ²
学生会館他延床面積	624.51 m ²

II 事業の概要

1. 概要

少子化の進行や生き残りをかけた大学間の競争の激化など非常に厳しい環境の中で、既定計画に基づく図書の補正・施設等の整備、教員の確保に取り組みました。また、学生の満足度向上のため、キャンパス環境の改善を図りました。

2. 行った事業

- (1) 図書不足分の補正のため増冊
- (2) 本部棟2階大教室の改修
- (3) 本部棟女子トイレの改修

3. 学事記録

4月	●入学式 ●オリエンテーション ●前期授業開始 ●定期健康診断
5月	●奨学金出願受付
6月	●防災訓練
7月	●オープンキャンパス ●前期試験
8月	●オープンキャンパス ●夏季休暇
9月	●オープンキャンパス
10月	●後期授業開始 ●大学祭 ●大学後援会の設立
11月	●推薦入学試験（指定校・公募制）
12月	●創立記念日 ●冬季休暇
1月	●後期試験
2月	●一般入学試験（前期）
3月	●春季休暇 ●一般入学試験（後期）

Ⅲ 財務の概要（平成19年度決算の状況）

資金収支計算書・消費収支計算書及び貸借対照表の概要は次のとおりです。

1. 資金収支計算書

収 入 の 部

<総括表>

(単位 円)

	学校法人	関西看護医療大学	総 額
学生生徒等納付金収入	0	324,750,000	324,750,000
手数料収入	0	6,852,200	6,852,200
寄付金収入	0	5,000,000	5,000,000
補助金収入	0	34,127	34,127
国庫補助金収入	0	0	0
地方公共団体補助金収入	0	34,127	34,127
資産運用収入	0	1,336,481	1,336,481
資産売却収入	0	0	0
事業収入	0	14,671,000	14,671,000
雑収入	0	1,494,256	1,494,256
借入金等収入	0	0	0
計	0	354,138,064	354,138,064

支 出 の 部

<総括表>

(単位 円)

	学校法人	関西看護医療大学	総 額
人件費支出	0	267,462,615	267,462,615
教育研究経費支出	0	66,778,288	66,778,288
管理経費支出	11,522,681	98,677,293	110,199,974
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	0	21,280,581	21,280,581
設備関係支出	0	40,462,137	40,462,137
計	11,522,681	494,660,914	506,183,595

2. 消費収支計算書

収 入 の 部

<総括表>

(単位 円)

	学校法人	関西看護医療大学	総 額
学生生徒等納付金	0	324,750,000	324,750,000
手数料	0	6,852,200	6,852,200
寄付金	0	5,000,000	5,000,000
補助金	0	34,127	34,127
国庫補助金	0	0	0
地方公共団体補助金	0	34,127	34,127
資産運用収入	0	1,366,481	1,366,481
資産売却差額	0	0	0
事業収入	0	14,671,000	14,671,000
雑収入	0	1,494,256	1,494,256
帰属収入合計	0	354,138,064	354,138,064
基本金組入額合計	0	▲ 92,217,187	▲ 92,217,187
消費収入の部合計	0	261,920,877	261,920,877

支 出 の 部

<総括表>

(単位 円)

	学校法人	関西看護医療大学	総 額
人件費	0	272,102,785	272,102,785
教育研究経費	0	115,506,269	115,506,269
管理経費	11,522,681	107,929,738	119,452,419
借入金等利息	0	0	0
資産処分差額	0	0	0
徴収不能引当金繰入額 (又は徴収不能額)	0	0	0
消費支出の部合計	11,522,681	495,538,792	507,061,473

3. 貸借対照表

貸借対照表
平成20年 3月31日

<総括表>

資産の部	
科 目	本 年 度 末
固定資産	2,435,721,598
有形固定資産	2,235,797,598
その他の固定資産	199,924,000
流動資産	245,968,158
資産の部合計	2,681,689,756
負債の部	
科 目	本 年 度 末
固定負債	6,809,880
流動負債	263,139,174
負債の部合計	269,949,054
基本金の部	
科 目	本 年 度 末
第1号基本金	2,348,766,562
第2号基本金	0
第3号基本金	0
第4号基本金	30,474,469
基本金の部合計	2,379,241,031
消費収支差額の部	
科 目	本 年 度 末
19年度消費支出準備金	0
翌年度繰越消費収入超過額（又は翌年度繰越消費支出超過額）	32,499,671
消費収支差額の部合計	32,499,671
科 目	本 年 度 末
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	2,681,689,756